

Open Source Conference 2021 Online Hokkaido
2021年6月26日(土) 10:00~18:00
オンライン会場 (Zoom & YouTube Live)

OSSのライセンス入門

※OSS:オープンソースソフトウェア

2021年6月26日
NEC OSS推進センター・姉崎章博



© NEC Corporation 2021

ところで、LinuxでGPLが注目される前は
ライセンスを気にせず、使っていませんでした?
自分のところのUNIX向けに, NCSA HTTPdやApache httpd
を改変して、Webサーバを立ち上げたり、
Sambaでファイル共有フォルダを作ったり、
awkやshellで開発ツールを作って使ったり…

これらは、ライセンス違反だったのか?
ライセンスに無知だった黒歴史?

いやいや、

著作権行使していないのだから、ライセンスは関係しなかった。

ライセンスを見るため、ソースコードをDLしよう

バイナリしか使わなくとも、FreeBSDの入手→ソースコード→開発→サポート→貢献

FreeBSD プロジェクト

FreeBSDは、最初のバージョンから30年以上長い歴史を持った「プロトコル用オペレーティングシステム」です。多くのコンビニや30年以上の運営実績を持つ企業によって、多くの企業が貢献しています。FreeBSDは多くの著名なウェブサイト（ Atkins）や、Apache（ Atoms）等で開発されています。また、多くの Linux リリースに組み込まれています。

Index of /releng/11.2/RELEASE/

File Name	Last Modified	Last Revision	File Size	Hash
src.txz	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	9	022022...404
src	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	702	022022...5c6
src/ports	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	18	022022...8f0
src/ports/MIL	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	16667900	022022...b74
src/ports/FreeBSD	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	12094545	022022...5e5
src/ports/FreeBSD-ports	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	30274070	022022...a0d
src/ports/FreeBSD-current	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	69355706	022022...47c
src/ports/FreeBSD-current-ports	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	17184606	022022...233
src/ports/FreeBSD-current-current	2020-02-02 09:06	2020-02-02 09:06	17184606	022022...194

なぜ、再頒布の条件なの?

再頒布者

商業のようなソフトウェア
・ライセンス(プログラム使用許諾契約)
が無いから

でも、再頒布は著作権の行使。
無断では著作権侵害となるが、
許諾する条件が示されている。

ローカルにソース改変し、
コンパイル・リンク・実行は
ライセンスを気にせず可能。
著作権を侵害しない。

条件を満たせば、
行使が許諾され、
自由に再頒布できる
ようになる。

添付文書
3点
and/or
デストラフィル

3点
nfs_commonacl.c

再頒布
再頒布
再頒布
再頒布
再頒布

3点
src.txz

3点
nfs_commonacl.o

コンパイル・リンク

3点
nfs_commonacl.o

3点
nfs_commonacl.o

3点
nfs_commonacl.o

3点
nfs_commonacl.o

3点
nfs_commonacl.o

© NEC Corporation 2021

自己紹介

- NEC OSS推進センター所属・姉崎章博
- 汎用機ACOSの通信管理、OSIの標準化、実装に関する
■ 「IA-64 Linux on 16-WayサーバAsusJ」 Linux Conference 2000 Fall
- OSSライセンスの解説に取り組む2006~
■ NECグループ内へ累計100回以上、3千名以上へ集合教育(Web教育を除く)
- 2008年 OSSライセンスのコンサルをビジネスにて100社程に有償対応
OSSの記事、IPA/SOFTICの報告書、コミュニケーションや大学教授の論文さえ、
著作権に基づく、GPLなどのライセンスをそのように扱っていないことに疑問
- 著作権情報センター(CRIC)第9回著作権・著作隣接権 論文佳作入選(2013年)
「OSSライセンスとは～著作権を権原とした解説」
http://www.osslicense.jp/OSSlicense/index.html

© NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門

OSSのライセンスの例

OSS	(主な)ライセンス
Linuxカーネル	GNU GPLv2
FreeBSD	(二条項BSDライセンス) Samba
Apache HTTP server	Apache License 2.0

当初、「人類の共有財産だ」とか
戯言を言っている人がいましたが、
開発者の著作権を蔑ろにした言い方

開発者は『著作権』があるから、
これらの条件を指定できる

© NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門

ライセンス条件は、主に2種類

1.著作権表示、条文本体、免責条項
BSDライセンス
Apache Licenseなど
見えるように(COPYRIGHT)
BSDライセンス
Apache Licenseなど
GNU GPLv2
GNU GPLv3など

2.バイナリのソースコードを
(または、その申し出を)添付すること

表現は、ライセンスごとに様々で、この通りの文書ではありません
•例えば、https://www.postgresql.org/about/licence/
著作権表示
条文本体
免責条項
the above copyright notice and this paragraph and the following two
paragraphs appear in all copies
見えるように

この3点も無いand/or Acknowledgeだけのライセンスなどもあります

上位互換を考慮できずに、このような包含関係がないライセンスもあります

4 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門

著作権表示、条文本体、免責条項のみのライセンス(1/2)

OSIで、permissive(寛容型)ライセンスとか呼んでるが、
寛容のつもりではなく、ソース開示したくない人にとって、
そう受け取れるというだけ。

FreeBSD_12.2 src/sys/fs/nfs/nfs_commonacl.c の例

SPDX-License-Identifier: BSD-2-Clause-FreeBSD
Copyright (c) 2009 Rick Macken, University of Guelph
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary form, with or without
modification, is permitted provided that the following conditions
are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright
 notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must retain the above copyright
 notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 2. Redistributions in binary form must also reproduce the above
 copyright notice, this list of conditions and the following
 disclaimer in the documentation and/or other materials provided
 with the distribution.

著作権表示
(the above copyright notice)
条文本体
(this list of conditions)

This software is provided by the author and contributors "AS IS" and
any express or implied warranties, including, but not limited to, the
implied warranties of MERCHANTABILITY and FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR NEGLIGENCE, OR OTHERWISE. THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS
DISCLAIM ALL LIABILITY FOR ANY DAMAGES RESULTING FROM THE USE
OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
SUCH DAMAGE.

免責条項
(the following disclaimer)

受領者にappearになるように「retain(残す)」とは、

1.受け取ったソースファイルを開くと、3点(著作権表示、条文本体、免責条項)の記述が残っていること

2.それが実行可能なLL(Pythonとか)でも同じ

3.バイナリでは見えなくなるので「reproduce(再掲/複写)」

3-1.必ず付属マニュアルに書かなければいけないわけではない。
3-2.ソースファイルを見ると3点の記述が残っているように、
実行形式ファイルを見ると、そこに3点の複製ファイルがあれば良い

入手した物に、なぜ許諾(ライセンス)が必要なのか?

入手した書籍を、許諾無しに、社内でコピーを配布すると…

有体物の書籍を入手できても、無体物の著作権は著作者にあるから。
著作者
著作者の著作権を侵害

Webで見つけた情報を、許諾無しに、自社Webで公開すると…

著作者
www
www
著作者の著作権を侵害

Webで見つけたOSSを、許諾無しに、製品に入れて頒布(販売)すると…

著作者
www
www
著作者の著作権を侵害

Webで見つけたOSSを、許諾無しに、社内でコピーを配布すると…

著作者
www
www
著作者の著作権を侵害

著作権表示とかソース開示とか

OSSライセンスの条件は、
ローカルに使用しているうちに、
昔同様、気にしなくてよい。

何かご質問はありますでしょうか?

3点をPostgreSQLはappearだったが、FreeBSDの場合は?

1.Redistributions of source code must : ソースコードの再頒布は、

• retain the above copyright notice, this list of conditions and the following
disclaimer.: 3点を残す

2.Redistributions in binary form must : バイナリ形式での再頒布は、

• reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following
disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
distribution.: 3点を部材に再掲する

つまり、

OSのライセンスとは

何もなければ、

OSS開発者の著作権を侵害する再頒布
を許諾するもの。

ライセンス条文は、その許諾条件。

何かご質問はありますでしょうか?

© NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門

では、

実際にOSSライセンスの条文を

見てみましょう。

FreeBSDの再頒布(Redistributions)の条件のイメージ

OS開発者
再頒布者
受領者
1.ソースコードの再頒布は、3点に残す

3点
nfs_commonacl.c
3点
nfs_commonacl.c
受領者にappearなるように

2.バイナリ形式での再頒布は、3点を部材に再掲

バイナリに
書かなくな
るから
3点
nfs_commonacl.c
3点
and/or
実行形式
nfs_commonacl.o
3点
nfs_commonacl.o
3点
nfs_commonacl.o

3-1.必ず付属マニュアルに書かなければならないわけではない。
3-2.ソースファイルを見ると3点の記述が残っているように、
実行形式ファイルを見ると、そこに3点の複製ファイルがあれば良い

本来、ライセンスは「許諾」の意味

「いついつまで有効」という免許のようなものではない。

免状扱いされる商用プログラムのソフトウェア・ライセンスは、

“License Agreement”とも呼ぶ「許諾契約書」。

当初、プログラム使用許諾書と呼んでいたが、

著作権に「使用権」など無いから、「許諾」する権利も無い。

で、契約の形で使用権のようなものを合意してもらう形になった模様。

それがプログラム使用許諾契約書とも呼ばれるソフトウェア・ライセンス。

一方、OSSのライセンスは、著作権の複製権など利用を許諾するもの。

許諾する行為が違うのだから、

「無料で使えるソフトウェア・ライセンス」との紹介はおかしい。

*この区別ができる人による、agreementと書いたOSSライセンスがあるので注意

© NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門

講義の形で聴講することにより、理解をご支援します

■ OSSライセンスと著作権法 講義(5H)

第1章 OSSは一般に他人の著作物

第2章 OSSライセンス違反とは

第3章 著作権について

第4章 OSSライセンスの概略

第5章 GPL感染/伝播などの都市伝説について

第6章 基本的な対策例

補遺 1 GPLv3について

補遺2 体制例

著作物・著作権が
どういうものか
理解いただいてから、

著作権行使の
許諾
として見ると、
何が記述されている
のか理解できる

1回5名まで30万円、10名まで40万円、20名まで50万円
オンラインにて講義します。
• 基本5H(補遺の説明なし)、100ページ超のテキスト

次回最終回、2021年9月14.21日(木)Zoom予定。
一人8万円の公開(公募)セミナーの開催も可能
評議は、<https://jpn.nec.com/oss/cseid/> 周報PDF参照

33 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門』の参考書
OSS License Checklist | Orchestrating a brighter world NEC

使っていいるOSSとライセンスは判明した。で、何をすれば?
という、自らの理解が不安な方のために

■ 製品個別・対策支援アドバイス・サービス

入力

1.一覧

- 1.OSS名とバージョン
- 2.OSSライセンス名とバージョン
- 3.入手先など

2.製品の領布(販売)形態

3.開発アプリでのOSSの使い方(図)

出力

- ライセンス違反になりそうなところを指摘
- 条件を満たす対応策を提案

• 当然、後の祭りもあり
得る

Linux用ドライバの
ソース開示がない
デバイスを選択済み

手遅れにならないように、講義は早めに受講を！
https://jpn.nec.com/oss/osslc/OSSproduct.html

34 © NEC Corporation 2021 OSSのライセンス入門』の参考書
OSS License Checklist | Orchestrating a brighter world NEC

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

Orchestrating a brighter world

NEC

OSSライセンスコンサルティング

<https://jpn.nec.com/oss/osslc/>